

新病院建設 News

放射線科

救急医療に対応して 迅速な診断を行うために

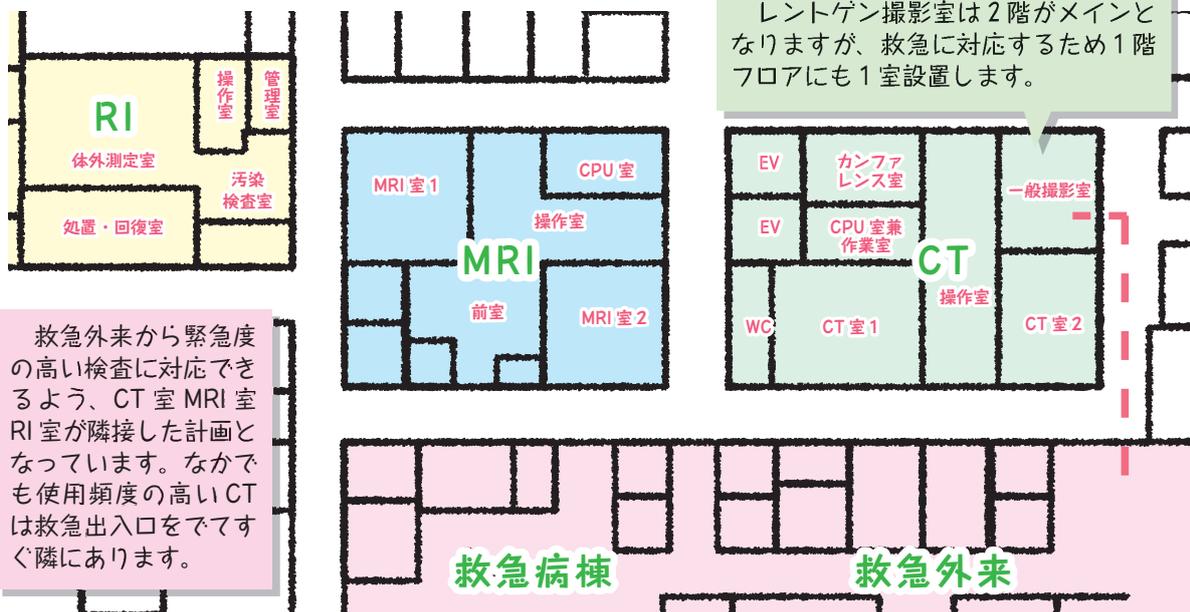
放射線エリアは1階、2階に分かれており、以前2階の放射線エリア（レントゲン、透視など）をご紹介しました。（新病院建設 NEWS vol.11）

今回は1階放射線エリア（CT、MRI、RI）をご紹介をします。

現在、大手町病院では「診療を求められたら断らない」を原則に、年間約7000台の救急車を受け入れています。

新病院では更に充実した医療を提供できることと速やかな診療を行えるように、動線の短縮や最新機器の導入を計画しています。

そのなかでも放射線機器の配置計画は特に重要となり、1階フロアについては救急外来と放射線科が密に連携できるよう、こだわりある計画となっています。



新病院ではMRIを1台追加し2台体制になります。

救急からの緊急検査が入っても速やかに検査を行うことができるため、早期診断につなげることができます。飛び入りの検査にも対応でき、患者さんの待ち時間も減らすことができます。



CTも1台最新機器を導入します。低被ばくで撮影速度も向上するなど、患者さんへの負担が低減します。

新生・内視鏡室

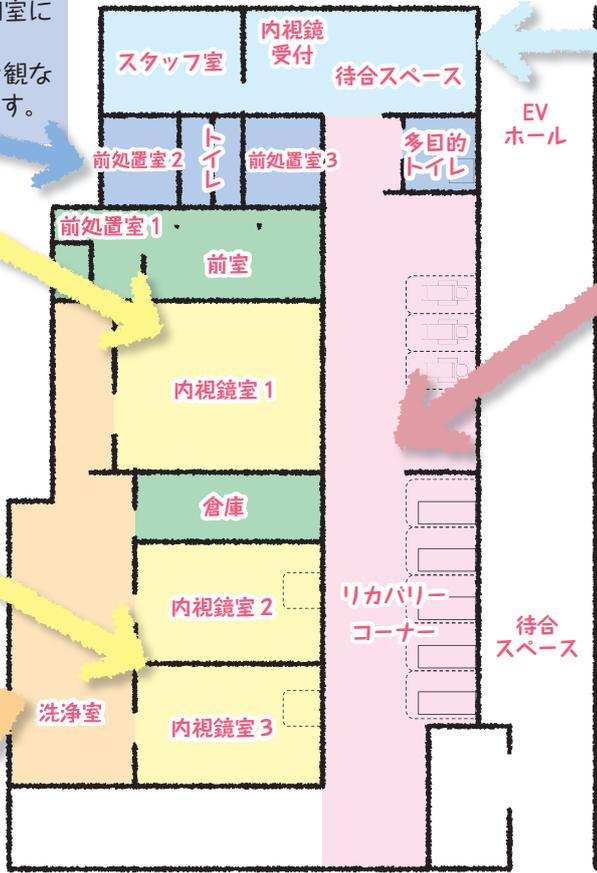
新病院の内視鏡室は、検査室が全室個室になり、よりプライバシーや感染対策に重点を置いた構造になっています。今回は新しくなる内視鏡室についてご紹介します。

大腸カメラ前処置室
大腸カメラの前処置室をすべて個室にしました。プライバシーを確保し、テレビを観ながらゆっくりと準備していただけます。

内視鏡治療に特化した検査室
3室ある検査室のうち、1室は内視鏡を使用した止血術や癌治療などを行うために、広めのスペースと特殊機器を設置した構造になります。

検査室
現在は検査台をカーテンで仕切ただけですが、新病院では全室個室で、プライバシーに配慮しゆったりとした空間で検査が出来ます。

感染対策
清潔な内視鏡と使用後の不潔な内視鏡が交差しないような動線を工夫しています。また、引き続き機械洗浄による安定した洗浄消毒を行います。



待合室
大画面のテレビを完備した、清潔感のある待合スペースです。

リカバリースペース
鎮静剤を使用した検査の後に一定時間休憩していただくスペースを新たに設けました。

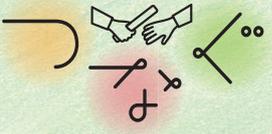
最新の内視鏡
従来の内視鏡よりも最新の高画質高性能な口から挿入する内視鏡2本、鼻から挿入する内視鏡を2本、導入します。より精密な検査が可能になります。



さらなる安心を

ひとことリレー

健和会と患者さんを



内視鏡室

新大手町病院竣工に向けて、新病院にかける意気込み・各部門の特徴を紹介します！

内視鏡室は急性期医療（緊急内視鏡検査・治療）から癌内視鏡治療、予防医療である健診内視鏡まで、幅広い内視鏡検査・治療に対応します。スタッフは医師、臨床検査技師、臨床工学技士、看護師の多職種にわたり、知識・技能の向上のため日々研鑽を積んでいます。新病院の設計にはスタッフが働きやすい動線や、患者さんのプライバシー配慮を意識して行ってきました。患者さんがここで検査を受けてよかったと思えるような内視鏡室を目指し精進していきたく思います。